

青野沢川河川災害復旧工事（その1）

2016年7月 工事だより

工期：2014年12月17日 ~ 2018年3月23日

工期が1年延びました

工事進捗状況

工種	進捗率	備考
河川土工	34.1 %	掘削、盛土
護岸工	9.5 %	基礎工、法覆護岸他
排水工	0.0 %	水路、管路、樹他
付属構造物工	3.9 %	階段他
構造物撤去工	48.1 %	無筋コン、鉄筋コン
地盤改良工	27.0 %	地盤改良
樋門・樋管本体工	33.5 %	樋門・樋管4基
鋼橋上部	0.0 %	鋼単純非合成箱桁橋他
橋梁下部	0.0 %	橋台2基、場所打ち杭
構造物撤去工	0.0 %	旧橋撤去
仮設工	31.4 %	工事用道路、水替え他

今月のトピックス

土木用語に見られる身近な生き物 その1（トンボ）

「早く、トンボを出せ!!」親方のうなり声が飛ぶ。トンボとは、道路やダムを造る際に土を盛り立てる目標の高さを表示するものです。木杭を土の中に埋め込み、目標とする高さを測量して印をつけます。その印の高さと又キ材と呼ばれる木の板の下端を合わせて、釘で打ち付けます。T字の形をしたトンボは、「この高さまで、土を盛ってください」の意味として使います。空を飛ぶトンボに似ていることからついた呼び方で、正式には「丁張り（ちょうはり）」といいます。トンボを出し終わると、ブルドーザーのオペレーターはその高さめがけていっせいに土を押し寄せ、土を盛り立てていくのです。



工事現場で見られる「トンボ」

出典：土木学会「どぼくのことは」

施工状況



全景写真

右左岸側とも被覆ブロックの施工を上段へと進めています。初夏に入り、木々も青々としてきました。

全景の変遷



2015年3月



2015年8月



2015年12月



2016年5月

工事担当者から一言

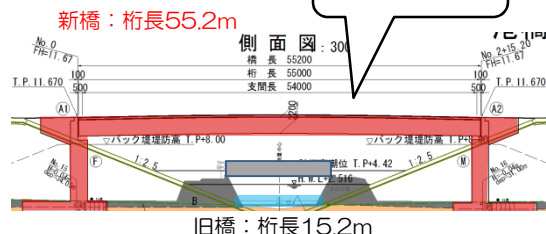


現場代理人 長谷川 潤

古い港橋に共架していた上下水管の撤去も目処がついてきました。いよいよ、新しい港橋の施工準備に取り掛かっていきます。

古い港橋は、8月上旬に130tクレーンで吊り上げて撤去予定です。そのまま一度には持ち上げきれないので、ワイヤーソーという巨大なノコギリで橋を分割してから持ち上げます。

新しい港橋の長さは約4倍



新旧港橋の比較

連絡先

事務所 住所：気仙沼市唐桑町出山240-5

電話：0226-31-3201 FAX：0226-31-3510

ホームページ： <https://www.takenaka-doboku.co.jp/aonosawa/index.html>

人と地球の架け橋に



竹中土木